

イベント主催者用セルフチェックシート

別 紙

北海道

イベント等の開催にあたっては、この「イベント主催者用セルフチェックシート」をご活用いただき、適切な感染防止策等を講じていただくようお願いします。

なお、新型コロナウイルスは未知の感染症であり、チェックリストに掲げられた対策を講じれば万全ということではないことにご注意いただくとともに、新たな知見が得られたり、今後の感染状況の推移などによって効果的な対策や取扱いに変更があり得ることをご留意ください。

※このセルフチェックシートの対象としているイベント等は、コンサート、展示会、プロスポーツなど、全国的又は広域的な人の移動が見込まれるものを指します。

チェックリスト

チェック欄	確認項目
☐	1 屋内、屋外ともに参加者が5,000人以下であること。 ※主催者と参加者のいる場所が明確に分かれている場合には参加者数のみを計上し、主催者と参加者のいる場所が明確に分かれていない場合（例：展示会的主催者と来場者等）には両者を合計した数とする。
☐	2 屋内でのイベントにあっては、収容定員の半分程度以内の参加人数にする。屋外でのイベントにあっては人と人との距離を十分に確保すること。（できるだけ2m） ※屋内であっても座席等により参加者の位置が固定されず、又は収容定員の定めがない場合には、人と人との距離を十分に確保という基準を用いること。 ※屋外であっても座席等により参加者の位置が固定され、かつ収容定員の定めがある場合には、収容定員の半分程度以内という基準を用いること。
☐	3 入場時等に検温を実施し、発熱等の症状がある場合はイベントの参加を控えてもらうようにすること。その際の払い戻し措置等をあらかじめ規定すること。
☐	4 参加者の名簿を作成するなど、連絡先を把握すること。
☐	5 「北海道コロナ通知システム」の積極的に登録するなどの対策を講じるとともに、参加者に「接触確認アプリ（COCOA）」をインストールしていただくよう促すこと。
☐	6 参加者に対し、熱中症等の対策が必要な場合を除き、原則、マスク着用を促すこと。
☐	7 参加者に対し、こまめな消毒や手洗いなど、「新北海道スタイル」に基づく行動を徹底するよう促すとともに、運営側も「新北海道スタイル」の実践を徹底すること。
☐	8 入退場時、休憩時間や待合場所等を含め、三密（密集・密接・密閉）の環境を作らないよう徹底するほか、参加者の誘導、入退場時間の分散、人と人との間隔を確保できるような席や人の配置などに取り組むこと。
☐	9 開催前後には、観客やスタッフ（選手・出演者を含む）の移動中や移動先における感染防止のための適切な行動（例えば、業務上必要性のない打ち上げ等の外出による感染リスクのある行動を回避）を促すこと。
☐	10 その他、イベントの形態に合わせた感染拡大予防のための業種別ガイドライン等に則した感染防止策を徹底すること。
☐	11 イベント参加者に上記1～10の取組について、参加者の協力が得られるよう、事前に周知すること。